

平成21年度第2回放課後子どもプラン推進委員会記録（要旨）

- 1 期日 平成21年10月30日（金）
- 2 場所 県庁附属棟305号
- 3 参加者 10名（欠席3名）
- 4 説明 「本年度事業の取組状況等について」
生涯学習課、こども政策課
- 5 協議
本県における「放課後子どもプラン推進事業」
の在り方について



① 本事業の検証・評価はどうあればよいか。

- 私の所属する放課後子ども教室では、アンケートを実施した。その結果、放課後子ども教室は、宿題をする所等、勘違いをしている保護者がいることも分かり、趣旨をしっかりと説明することの大切さが理解できた。また、安全管理員にもアンケートを実施したが、県がアンケートを実施するのであれば、学校へも実施してほしい。
- 評価のための評価ではなく、本事業の改善につながるものとして、評価を考えてほしい。
- 放課後子どもプランとして、放課後子ども教室と児童クラブの両方でアンケートを実施してほしい。
- 県全体のアンケートとともに、各教室・各クラブ独自のアンケートも必要だと思う。
- 独自のアンケートでは、次の時間に何をしたいか。何が楽しかったか。何がつまらなかったか。家まで何分かかかるか等、内容をもっと工夫する必要があると思う。
- 現在取り組んでいる事業関係者へのアンケートとしてはいいが、取り組んでいないところも考えれば、アンケートだけでは検証・評価は難しい面もあると思う。
- 障がいのある子どもへの対応等様々な課題があると思う。このような課題が浮彫りになるようなアンケートにしてほしい。

議長 結論としては、アンケートを実施する方向でお願いしたいし、子どもが直接考えることができる等、中身を整理してほしい。

② 本事業の課題への対応はどうあればよいか。

- 実態として、児童クラブと放課後子ども教室の連携はどうなっているのだろうか。そこには、様々な課題があり、容易ではない。県内で好事例はないのか。
- 学校内、児童館、保育所等、実施場所によっても形態が様々である。接点を少しでも見つけて連携するようにしている。できるところから連携していけばいいのではないか。
- 待機児童が多いというのが課題だと思う。また、それぞれの指導者同士のコミュニケーションも大事だと思うが、実態として、様々な事情から情報交換ができていない面もある。
- 行政側としては、予算の問題がある。国への要望であるが、なるべく市町村の支出が少ない予算ででき、規制等のしびりが無いものにしてほしい。
- 学校側としては、最初は理解が困難な面もあるが、結果として、子どもたちのために

なっている状況であり、各市町村に広める対応をしてほしい。

- 全国的にみたら、放課後子どもプランを実施していない自治体もある。行政によっても取組は様々である。
- 人口の多い所、要望が多い所ほど、余裕教室が不足しているという現状がある。それが大きな課題であると思う。
- 啓発については、地域の中で、地域住民と一緒に活動することで、結果的に啓発していることになる。そのように地域で行われている活動に積極的に取り組む必要がある。
- マスメディアを利用して地域全体に啓発をする必要がある。そのためには、イベントをする等のしかけが必要である。
- 現実的には、親への対応が課題になっている面もある。

議長・ 様々な意見が出たが、本日の意見を参考にして、本事業の推進に役立ててほしい。

あいさつ（生涯学習課長）

- ・ 本日の皆様の貴重な御意見を参考にアンケートの実施や今後の本事業の推進発展に努めていきたい。

